

国歌

最後の一歩 最初の一歩

晴れやかな この日には
いいじょうぶ どんな風も
振り返り たずねる
きっと乗り越えられる
ぼくらは いつだって
笑顔だつただろうか
ひとり 奮わせるとき

君が代は

千代に八千代に

つまずいて迷いながらも
ともに大人になつた
きみと育てた夢の
つぼみ ふくらむ季節

さざれ石の

いわおとなりて

こけのむすまで

さよう校庭に印す 最後の一步は
新しい明日への それぞれの未来への
最初の一歩さ
胸を張つて かかと強く
蹴つてゆくよ

もう一度 あの日に
戻れたら いいのに
くやしくて 流した
涙さえも まぶしい

さよう思い出に刻む 最後の一步は
また会える日のための
微笑んで会うための
最初の一歩さ
自分らしく 歩いてゆくと 高く歌う

さよう校庭に印す 最後の一步は
新しい明日への それぞれの未来への
最初の一歩さ
胸を張つて かかと強く
蹴つてゆくよ

この場所から

平成二十九年度

卒業式

平成三十年三月二十二日(木)

開式 午前九時三十分

京都市立伏見板橋小学校

